

関 連 通 知

<国土交通省>

- ① 「集中豪雨等に対する下水道工事の安全対策について」 1 頁
平成 20 年 8 月 6 日 国都下事第 153 号
国土交通省 都市・地域整備局 下水道部 下水道事業課長
- ② 「下水道管渠内工事の安全対策に係る緊急点検について」 2 頁
平成 20 年 8 月 6 日 事務連絡
国土交通省 都市・地域整備局 下水道部 下水道事業課 企画専門官
- ③ 「集中豪雨等に対する下水道管渠内作業の安全確保について」 3 頁
平成 20 年 8 月 7 日 事務連絡
国土交通省 都市・地域整備局 下水道部 下水道企画課 下水道管理指導室 課長補佐

<厚生労働省>

- ④ 「局地的な大雨等による河川・下水道管渠内等作業における労働災害の防止について」 5 頁
平成 20 年 8 月 5 日 基安安発第 0805002 号
厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 安全課長

<気象庁>

- ⑤ 「局地的な大雨に対する気象庁の対処について」 9 頁
平成 20 年 8 月 14 日 報道発表資料
気象庁

国都下事第153号
平成20年8月6日

各都道府県下水道担当部長 殿
各政令指定都市下水道担当局長 殿
日本下水道事業団事業統括部長 殿
独立行政法人 都市再生機構下水道担当部長 殿

国土交通省都市・地域整備局下水道部
下水道事業課長

集中豪雨等に対する下水道工事の安全対策について

標記については、「出水期における下水道工事の安全対策について」（平成16年10月12日付け国都下事第324号）により対策の実施をお願いしているところであるが、本年8月5日、東京都内で施工中の下水道管渠工事（合流式下水道管の再構築工事）の現場において、集中豪雨により急激に管渠内の水位が上昇し、工事作業員が流され、死亡者も発生するという痛ましい事故が発生したところである。（事故原因の究明及び再発防止策について、東京都にて委員会を設置して調査予定）

近年、全国的に集中豪雨が頻発し、下水道管渠においても急激な水位上昇等のリスクが大きくなっていることから、今後、このような事故が再発することのないよう、雨水が流入する管渠内における工事を実施する場合には、下記事項に留意し、下水道工事の安全対策について、万全を期されるよう、重ねてお願いする。

なお、各都道府県におかれては、この旨管下市町村（政令指定都市を除く）にも周知されたい。

記

1. 雨天時の工事中止等の検討

大雨等に関する気象情報等により、相当の降雨が事前に予想される場合には、原則として、当日の工事を中止すること。

2. 気象情報等の取得体制の強化と工事中止判断への活用

気象警報・注意報のみならず、雨量データ等のリアルタイムの情報について、工事現場において速やかに取得できる体制を構築するとともに、当該情報を工事中止の判断に活用すること。

3. 下水道管渠内作業員の退避行動の事前確認の徹底

集中豪雨が発生した際の下水道管渠内作業員の退避行動（情報の伝達体制等を含む）について、事前に十分確認すること。

4. 施工計画書の確認

請負者が提出する施工計画書の内容について、集中豪雨時の対応等の安全管理対策を十分に検討されているかどうか確認し、必要に応じて、安全管理対策の検討を指示すること。

事務連絡

平成20年8月6日

各都道府県下水道担当課長 殿
各政令指定都市下水道担当部長 殿
日本下水道事業団担当課長 殿
独立行政法人都市再生機構下水道担当課長 殿

国土交通省都市・地域整備局下水道部
下水道事業課 企画専門官

下水道管渠内工事の安全対策に係る緊急点検について

今般の東京都で発生した下水道管渠内工事における事故を踏まえ、現在実施されている同種工事における集中豪雨等に対する安全対策について緊急点検をお願いする。

貴職におかれては、該当する下水道管渠内工事における安全対策の実施状況について再度確認していただくとともに、請負者とも打ち合わせを行い対策実施の徹底を指示されたい。また、「集中豪雨等に対する下水道工事の安全対策について」(平成20年8月6日付け国都下事第153号下水道事業課長通知)等を踏まえて、必要に応じ安全対策の内容について見直しを図られたい。

あわせて、別紙に従い、該当する下水道管渠内工事における安全対策の緊急点検の実施状況について当職まで報告されたい。

なお、各都道府県におかれては、貴管内の市町村(政令指定都市を除く。)に対しても、周知されたい。

事 務 連 絡
平成 20 年 8 月 7 日

各都道府県下水道担当課長 殿
各政令指定都市下水道担当課長 殿

国土交通省都市・地域整備局下水道部
下水道企画課下水道管理指導室 課長補佐

集中豪雨等に対する下水道管渠内作業の安全確保について

標記について、本年 8 月 5 日、東京都内で施工中の下水道管渠工事（合流式下水道管の再構築工事）の現場において、集中豪雨により急激に管渠内の水位が上昇し、工事作業員が流され、死亡者も発生するという痛ましい事故が発生したところである。

これを踏まえ、別添のとおり、当部下水道事業課長名で「集中豪雨等に対する下水道工事の安全対策」（本年 8 月 6 日付け国都下事第 153 号）が通知されたところであるが、下水道管渠内における清掃、点検・調査等の維持管理作業においても同様に留意し、厳重な安全管理の徹底を遺漏なきようお願いする。

なお、各都道府県におかれては、この旨貴管内市町村（政令指定都市を除く）にも周知されたい。

各都道府県下水道担当部長 殿
各政令指定都市下水道担当局長 殿
日本下水道事業団事業統括部長 殿
独立行政法人 都市再生機構下水道担当部長 殿

国土交通省都市・地域整備局下水道部
下水道事業課長

集中豪雨等に対する下水道工事の安全対策について

標記については、「出水期における下水道工事の安全対策について」（平成16年10月12日付け国都下事第324号）により対策の実施をお願いしているところであるが、本年8月5日、東京都内で施工中の下水道管渠工事（合流式下水道管の再構築工事）の現場において、集中豪雨により急激に管渠内の水位が上昇し、工事作業員が流され、死亡者も発生するという痛ましい事故が発生したところである。（事故原因の究明及び再発防止策について、東京都にて委員会を設置して調査予定）

近年、全国的に集中豪雨が頻発し、下水道管渠においても急激な水位上昇等のリスクが大きくなっていることから、今後、このような事故が再発することのないよう、雨水が流入する管渠内における工事を実施する場合には、下記事項に留意し、下水道工事の安全対策について、万全を期されるよう、重ねて願います。

なお、各都道府県におかれては、この旨管下市町村（政令指定都市を除く）にも周知されたい。

記

1. 雨天時の工事中止等の検討

大雨等に関する気象情報等により、相当の降雨が事前に予想される場合には、原則として、当日の工事を中止すること。

2. 気象情報等の取得体制の強化と工事中止判断への活用

気象警報・注意報のみならず、雨量データ等のリアルタイムの情報について、工事現場において速やかに取得できる体制を構築するとともに、当該情報を工事中止の判断に活用すること。

3. 下水道管渠内作業員の退避行動の事前確認の徹底

集中豪雨が発生した際の下水道管渠内作業員の退避行動（情報の伝達体制等を含む）について、事前に十分確認すること。

4. 施工計画書の確認

請負者が提出する施工計画書の内容について、集中豪雨時の対応等の安全管理対策を十分に検討されているかどうか確認し、必要に応じて、安全管理対策の検討を指示すること。

基安安発第 0805002 号
平成 20 年 8 月 5 日

都道府県労働局労働基準部長 殿

厚生労働省労働基準局
安全衛生部安全課長

局地的な大雨等による河川・下水道管内等作業における労働災害の防止について

全国各地で局地的な大雨が発生しており、別添 1 のとおり、下水道工事中に作業員 6 名が流される労働災害が発生した。

本労働災害については、現在、調査中であるが、上流域の降雨により河川、下水道管内等の水位が急激に上昇することにより、同種の労働災害の発生が懸念される場所である。

については、同種の労働災害の発生を防止するため、別添 2 のとおり要請を行ったので、貴局におかれても本要請を了知の上、あらゆる機会を捉え、管内における関係事業場並びに都道府県及び市町村に対し必要な指導及び要請を実施されたい。

既設下水道管再構築工事における災害

1 発生年月 平成20年8月

2 発生場所 東京都豊島区

3 発生状況

本工事は、老朽化した既設の下水道管（2.12メートル×1.59メートル）を延長約550メートルにわたって再構築する工事である。

発生当時の朝、作業員6名がマンホールから下水道管内に入場し、資材の投入とともに水の仮止めとポンプによる排水を行った後、FRP樹脂塗り作業を開始した。昼前から大粒の雨が降り出し、急激に下水道管内が満水状態となり、作業員6名が流水に巻き込まれた。うち、1名は自力で脱出したものの、5名が下流に流された。

4 被災状況 死亡1名 行方不明4名

別添2
基安安発第 0805001 号
平成 20 年 8 月 5 日

建設業労働災害防止協会会長 殿
社団法人全国建設業協会会長 殿
社団法人日本土木工業協会会長 殿
社団法人日本建設業団体連合会会長 殿

厚生労働省労働基準局
安全衛生部安全課長

局地的な大雨等による河川・下水道管内等作業における労働災害の防止について

建設工事における労働災害の防止については、かねてからその徹底を求めてきたところですが、別添のとおり、下水道工事中に作業員 6 名が流される労働災害が発生しました。

本労働災害については、現在、調査中ですが、全国各地で局地的な大雨が発生しており、同種の労働災害の発生が懸念されるところです。

つきましては、貴団体におかれましても、同種の労働災害の発生を防止するため、下記の対策を講じるよう、関係事業場等に周知徹底していただきたく要請いたします。

記

- 1 上流域の降雨による河川、下水道管内等の水位の上昇による危険性について、あらかじめ発注者からの情報等をもとに把握しておくこと。
- 2 大雨注意報の発令等、上流域への降雨に関する情報を迅速に把握する体制を構築しておくこと。
- 3 緊急時の警報並びに避難の方法をあらかじめ定めておくこと。
- 4 大雨等により河川、下水道管内等の水位が急激に上昇するおそれのあるときは、河川、下水道管内等での作業を行わないこと。
- 5 作業中において、大雨等により河川、下水道管内等の水位が急激に上昇するおそれが生じたときは、直ちに作業を中止し、労働者を安全な場所に退避させること。
- 6 河川、下水道管内等で作業を行う労働者に対して、大雨により急激に水位が上昇する可能性があること及びその場合の避難方法について、あらかじめ周知しておくこと。

既設下水道管再構築工事における災害

1 発生年月 平成20年8月

2 発生場所 東京都豊島区

3 発生状況

本工事は、老朽化した既設の下水道管（2.12メートル×1.59メートル）を延長約550メートルにわたって再構築する工事である。

発生当時の朝、作業員6名がマンホールから下水道管内に入場し、資材の投入とともに水の仮止めとポンプによる排水を行った後、FRP樹脂塗り作業を開始した。昼前から大粒の雨が降り出し、急激に下水道管内が満水状態となり、作業員6名が流水に巻き込まれた。うち、1名は自力で脱出したものの、5名が下流に流された。

4 被災状況 死亡1名 行方不明4名

局地的な大雨に対する気象庁の対処について

気象庁では、今回の神戸の都賀川や東京の雑司ヶ谷の局地的な大雨による災害に鑑み、自然災害の「犠牲者ゼロ」を目指して、防災気象情報に関して、下記の対策を講ずることとしました。

1. 8月中に実施する緊急的な対応

- ・雷が発生する気象状況では、突発的な雨の強まりへの注意も必要であることから、次のことを行います。
 - －8月15日から、雷注意報で突発的な雨の強まりへの注意を促します。
 - －気象キャスターなどを通じて一層の周知・広報を行います。

・自治体や民間気象事業者の携帯電話サービスの紹介

防災気象情報の利用促進のために、自治体や民間気象事業者が防災気象情報に関する携帯電話サービス等を行っていることをホームページ等で紹介します。

2. 局地的な大雨に関する防災気象情報の利用促進のためのガイドラインの作成・公表

有識者や防災関係者の意見を伺いながら、局地的な大雨に関する防災気象情報(気象レーダーエコー図、降水ナウキャストなど)の利用促進のためのガイドラインを、今年度中の出来るだけ早い時期に作成・公表します。

3. 局地的な大雨の予測技術の開発

中長期的な課題として、平成22年度から竜巻等激しい突風や雷、短時間強雨の危険性の高い領域を分布図形式で表した「突風等短時間予測情報(仮称)」を発表するなど、様々な面での技術開発を進め、局地的な大雨に関する予測技術の高度化を図ります。

<本件に関する問い合わせ先>

総務部企画課 03-3212-8341(内線 2225)
予報部業務課 03-3212-8341(内線 3105)

雷注意報の改善

8月15日から
(緊急な対応)

従来

1. 雷注意報
平成20年 8月 5日11時09分 気象庁予報部発表
東京地方「雷注意報」
伊豆諸島北部「雷注意報」
三宅島「雷注意報」
((東京地方では6日明け方にかけて、また、三宅島では5日昼過ぎにかけて落雷や突風に注意して下さい。伊豆諸島北部でも、5日夕方にかけて発雷のおそれがあります。))
23区西部 [継続]雷注意報
雷 5日昼過ぎから6日明け方まで
付加事項 突風
...

これから

1. 雷注意報
平成20年 8月 5日11時09分 気象庁予報部発表
東京地方「雷注意報」
伊豆諸島北部「雷注意報」
三宅島「雷注意報」
((東京地方では6日明け方にかけて、また、三宅島では5日昼過ぎにかけて落雷や突風、**急な強い雨**に注意して下さい。伊豆諸島北部でも、5日夕方にかけて発雷のおそれがあります。))
23区西部 [継続]雷注意報
雷 5日昼過ぎから6日明け方まで
付加事項 突風
...

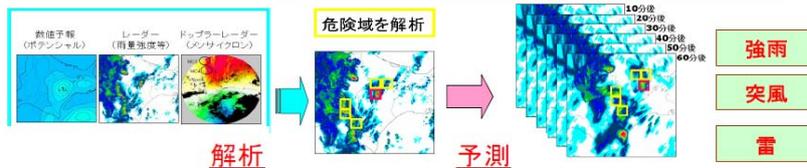
雷注意報の「注意警戒文」(2重括弧内)の中で、突発的な雨の強まりに注意を促す。

急速に発生・発達する現象への予報の現状



突風等短時間予測情報(仮称)

平成22年度開始



短時間に急速に発生・発達する強雨、突風、雷を解析し、10分刻みで1時間先まで予測する格子点情報 (10分ごとに提供)